

矛盾と対立の社会

地域の人々のつながりで

地域で活動している人達との連携（横の系）

はじめて解決の糸口が見えてくる！

希望を開く未来への道 「協同労働の協同組合」

労働者協同組合 「地域連携協同組合」

長寿社会に相応しい定年後の過ごし方・働き方！

問題提起

定年を迎えてもその先の人生は30年!? 結構ながーい!!!!

この時間をどう使い? どう生き抜くか!!!! いざ当事者になってみると切実な問題です!!!

私たちの「労協うえだ」のスローガン!

これまでの人生経験と趣味や資格を活かした仕事づくりを一緒にしませんか

労働者協同組合法でつくる未来

2022年10月1日、労働者協同組合法という新しい法律が施行されました。

労働者協同組合は、労働者が組合員として出資し、その意見を反映して、自ら事業に従事することを基本原理とする組織であり、地域のみみなで意見を出し合って、助け合いながら地域の課題を解決していこうという、新しい法人制度です。

法の目的（法第1条）

この法律は、各人が生活との調和を保ちつつその意欲及び能力に応じて就労する機会が必ずしも十分に確保されていない現状等を踏まえ、組合員が出資し、それぞれの意見を反映して組合の事業が行われ、及び組合員自らが事業に従事することを基本原理とする組織に関し、設立、管理その他必要な事項を定めること等により、多様な就労の機会を創出することを促進するとともに、当該組織を通じて地域における多様な需要に応じた事業が行われることを促進して、もって持続可能で活力ある地域社会の実現に資することを目的とする。

私たちの自己紹介

労働者協同組合 上田（通称 労協うえだ）令和5年3月24日法人
資本金 52万 8月末で第2期定期総会 3期目の活動中
組合員 14名 男性8名女性6名 40代3名50代1名60代5名70代5名

私たちの活動スローガン

こんな時代だからこそ 新しい働きで これまでの人生経験と
趣味や資格を活かした仕事づくりを一緒にしませんか

私たちの大きな目標

少子高齢化社会の中で、地域社会生活にもうひとつの新しい歯車を創りたい！
それは、60代～70代の元気なシニア層が地域の守り手として地域の困り事
を解決する仕事（担い手）として活躍する！そんな新しい地域社会の仕組みを
創ってゆくことです

私たちは協同労働の協同組合「労協うえだ」発足させました

私たちの考え方

少子高齢化社会は地域生活においても様々な支障や弊害をもたらしています。私たちは今まさに**高齢者仲間たちによる高齢者同士の助け合いが、問題解決の糸口**になるものと考えています。具体的には、庭の木を切りたい・草刈りしてほしい・ここに棚が欲しいなど業者に頼むほどではないが、チョットした手が欲しいという**身近な相談事を地域に住む身近な高齢者達が仕事仲間としてお手伝いする**仕組みです。

厚労省の人口統計でも就労を希望する高齢者の割合は7割を超えていると言われてますが、この地域の**まだまだ元気な高齢者たちの潜在的な労働力をこの様な新しい働き方で活躍して欲しい**と考えています。こんな思いから発足させたのが「労働者協同組合 労協うえだ」です。

私たちは、これまでの人生でえた経験や資格・趣味を活かした様々な働き方を組織化し提案して行きます。**経験豊富な高齢者たちが楽しく生き生きと働きながら自らの存在感が地域で感じられる様なそんな生き方提案**です。この活動は地域社会への貢献と地域活性化の原動力になるものと確信しています。

人生100年時代に相応しい地域社会の再構築です。

現在の活動組織図

ワーカーズ上田地域応援隊



家庭菜園
チーム

ソルガム栽培チーム

竹林チーム

労働者協同組合

労協うえだ

地域
地域包括支援センター
社会福祉協議会
まちづくり協議会

学習会

行政

第1回 生活支援コーディネーターとの交流会と勉強会を開催しました



市内には10ヶ所に「地域包括支援センター」が開設され工夫されながら様々な活動に取り組まれています。**共通する課題は、どの様にして地域の身近な困り事を解決して行くのか！！**

「もともとつながりのある高齢者世帯は、出来ることはお互い様で、そこに60代後半からの世代をどの様に巻き込むかが課題となっている」との発言もあり、今こそ私達の出番だ！と感じました

報告書 北澤様宅の庭先のふじ枝木の伐採・道路沿いの草木の整備・運搬処理作業

作業日 令和6年10月3日(木)午前9～12時

作業内容 4人で3時間作業・軽トラック2回分の運搬処理作業



地域の困りごと解決の仕組みと価格表

労協うえだ（R6年8月時点）

	仕事の内容	メンバーと対応体制										料 金	備考（仕組みと対策など）
		堀内	河崎	大房	加藤	北澤	高橋	土屋	矢口	平林	土屋		
家の 周 り 作 業	1 庭の草取り・片付け	○		○		○	○		○	○	○	時給1,500円	作業員の移動経費として自宅から現場までの距離で算出し見積項目に追加する
	2 庭木の手入れ・片付け	○				○	○		○	○	○	時給1,750円	処理運搬費として軽トラ1台分3,000円処分料500円 技術加算として250円
	3 通路の雪かき					○	○		○			時給1,500円	
	4 家回りの整理整頓・片付け	○	○	○		○	○		○			時給1,500円	
	5 垣根・塗装・修理など					○	○		○			見積による	
家 の 中 作 業	6 窓ふき	○	○	○		○	○		○			時給1,500円	
	7 障子の張り替え		△			△	△		○				
	8 網戸の張り替え					△	○		○				
	9 電球交換					○	○		○			時給1,500円	
	10 整理・整頓・清掃などの片付け	○	○	○		○	○		○			見積による	

農家・農地管理	26	家庭菜園など畑の耕耘					○	○		○		見積による	・作業時間を時給1,500円で算出
	27	農地の草刈り		○			○	○		○		見積による	・別途農機具使用料として管理機1回2,000円トラクター1回3,000円
	28	農地の再生と管理					○			○		見積による	・軽トラ使用料3,000円
を通じて	29	郵便局や確定申告等の手続き手											・人材開発
	30	講習会・現地指導会など											・人材開発
	31	パソコン教室・写真のデータベース											・人材開発
	32	畑を売りたいが相談したい											・人材開発

「労協うえだ」としての基本姿勢とその考え方

- ・現地調査をします・面談と打合せをします・見積書と工程表を提出します。この3原則を基本とします。
- ・各地の地域包括支援センターとの連携を基本に仕組みを作って取り組みます。初回面談は、必ず、同席のもとで打ち合わせします。
- ・有償事業であることから、契約は、依頼者との了承と発注を受けて誠実に仕事をします。（信頼関係なくしてなりたない！）
- ・料金設定の原則は、時給制としてその労働時間と人工を算定して料金表とします。進行管理費・交通費の項目を追加します。

川西地域包括支援センター主催で地域連携懇談会の開催

少子高齢化の進む地域で活躍する新たな力～元気な高齢者が川西地域を救う！！！！



目的

- ①「労協うえだ」の活動を知って活用すすめる
- ②一緒に活動してくれる仲間の発掘
- ③ニーズの発掘する
地域の民生児童委員・福祉推進委員・ケアマネ・薬局・社会福祉協議会・公民館・自治会・まちづくり協議会関係者など
テーマに関心もつ住民の皆さん100名が出席。

報告書

第2回目の上田市内10ヶ所の地域包括支援センターとの交流・提携会議を開催

日時

令和6年8月29日(金)10時～

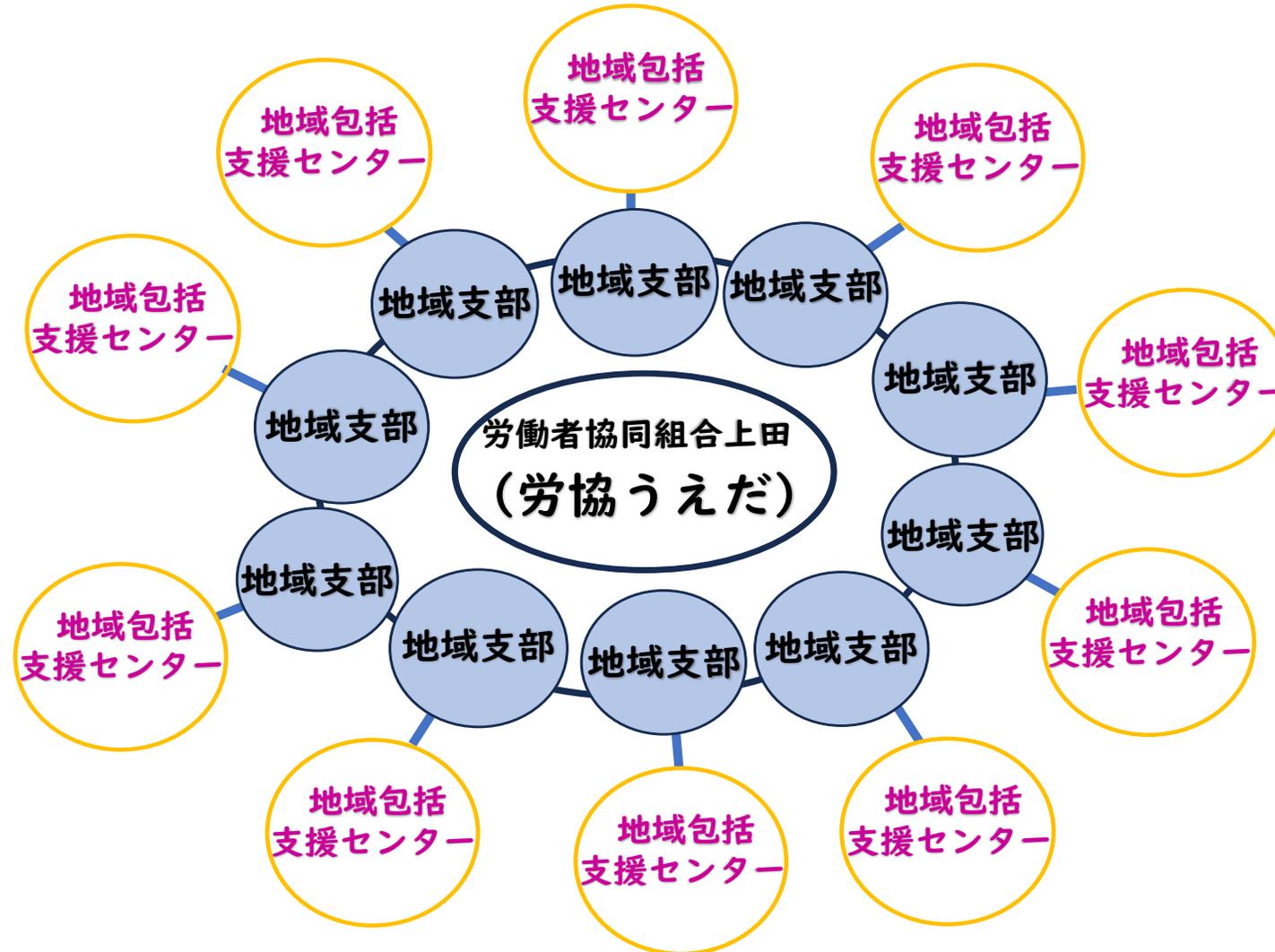
労協うえだの事務所で開催される

テーマ

「地域の困りごとは地域で解決できる仕組みと体制づくり」を共通テーマとして話し合う！！



私たちが目指す『新しい働き方』組織



労働者協同組合の良いところ

3つのメリット

1. 地域の担い手づくり
2. 新しい働き方で、楽しく働く仕事づくり
3. いつまでも元気に生きる健康寿命づくり

この組織は、個人企業でなく、協同労働の協同組合であること。
次の担い手の人たちに繋いでゆくことができる組織です。

新しい働き方の基本原則に従い、持続可能で活力ある
地域社会の実現につながる活動です。

厚労省の「雇用政策研究会」(R6年7月23日)で 労働者協同組合の重要性と「労協うえだ」の事例が紹介されました!

〈地域におけるマッチング強化を通じたシニア世代の活躍〉
シニア世代が地域社会が抱える課題を自らの経験を活かして解決につなげようとする取組みは、人口減少により地域の担い手不足しつつある中で、重要性が高まっている。長野県上田市では、労働者協同組合法に基づく労働者協同組合として、シニア世代自らが「労協うえだ」を2023年3月に設立し、**地域包括支援センターなどの関連機関と連携しながら**、地域の困り事の解決に関する仕事を中心に事業を展開している。

私達の提案 これからは地域の様々な活動を通して活躍している個人はじめ、団体・組織にこだわらずに横のつながりを創っていくこと!!!これまでの社会仕組みを縦系と考え、そこに地域社会の横系を編み込んでいくことが、私たちの仕事であり、そこで編まれた布で地域社会を優しく包みこんでいく!このことが持続可能な地域社会の実現につながる活動と私達は考えています。

楽しかった秋の収穫体験会 「ふれあい体験会型家庭菜園」



「遊休農地の再生とソルガム栽培の普及に取り組む 連絡協議会」の発足準備会

報告書 「(仮称)遊休農地の再生とソルガム栽培の普及に取り組む連絡協議会」の発足準備会
日時 令和6年5月28日
会場 サンワーク上田



はじめに

新緑が目にしみる季節となり、すでに夏の気配すら感じられる今日この頃です。早いもので来月には、ソルガムの播種時期を迎えています。今季のスタートにあたり「(仮称)の連絡協議会」を組織化して、継続的な活動を目指して取り組みたいと考えています。この活動の中には、高齢化社会の中で一層深刻となっている耕作放棄地の問題をはじめとして農業・食糧・食育・環境・防災そして、脱炭素社会の実現にも繋がるまさに、持続可能で活力ある地域社会の実現につながる活動です。

参加団体 市会議員・JA信州上田・地元の環境団体・農家有志が準備会に参加表明、引き続き、上田市農政課・農業委員会や医療生協などに呼びかけ今年中に正式発足を目指しています。

準備会代表に中村市会議員・事務局に労協うえだの北澤が選出された。

「竹林チーム」の竹炭実演会

塩田の体験型家庭菜園の川沿いに放置された竹林。

今年から地域課題となっている放置竹林を何とかしようと竹炭チームを発足させる。



春に家庭菜園のメンバーとタケノコ狩りを楽しみ、間引きを兼ねて竹林の刈り倒し作業を実施。

12月9日。今年購入した窯で（竹炭実演会）をする。

快晴の下、楽しかった！

来月に再度竹炭実験をする予定。

次回は早めに蓋をして竹の形が残る竹炭作りに挑戦！！

中村哲さんの映画上映会

報告書

「医師 中村哲の仕事・働くということ」映画上映会

開催日時

令和6年2月10日（土）10～・14時～

会場 丸子文化会館



報告書 JAフェスティバル上田会場・上小地区協同組合まつりを開催

日時 令和6年9月14日(土) 9時～15時 上田城址公園やぐら下芝生公園

目的 世界に誇れる協同組合の価値と理念を地域の皆様に発信し、仲間の輪を広げる契機と位置づけ取り組もう！！！！



報告書
日時

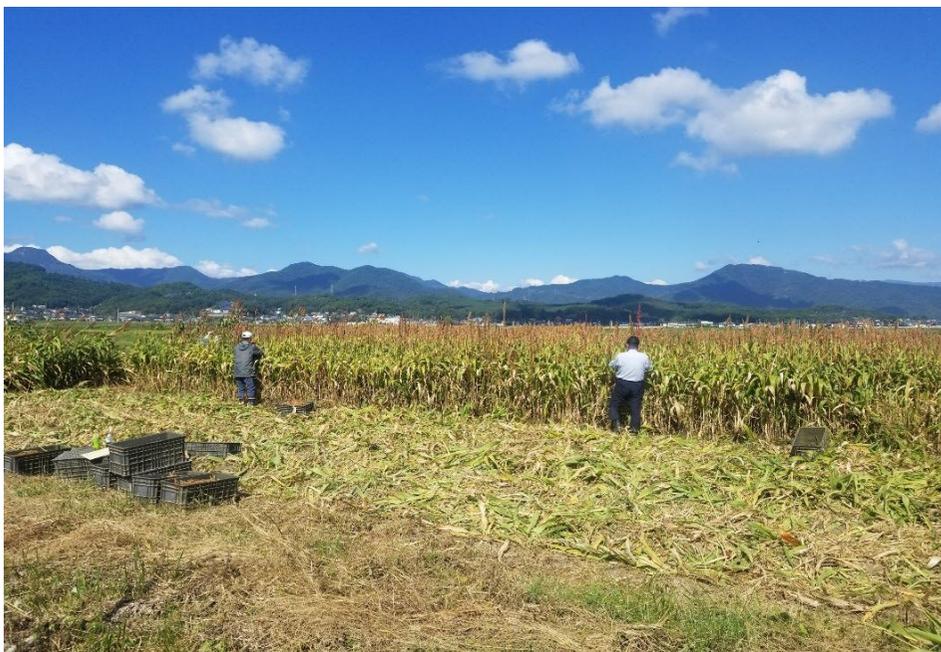
塩田中村地籍のソルガム田圃
令和6年10月13日～14日

里山ソルガム

収穫作業

コウリヤン

タカキビ



うるち種赤ソルガムの収穫作業
播種時期 6月14日出穂時期 8月上旬日
草丈 150センチ～180センチ
穂先を剪定ハサミで切ってリング箱に
11月上旬 脱穀作業 精米機で搗精作業
反収 250kg～350kg

ご清聴ありがとうございました

労 協 う え だ